



# 医療と介護のシームレスな連携に向けて 情報共有ポータル「MeLL+」を提供

## マルチ/ハイブリッドクラウド環境で信頼性とスケーラビリティを両立

### 背景

医療と介護のシームレスな連携に向けて、情報共有ポータル「MeLL+」の開発を検討。介護情報管理クラウドサービスと医療情報管理システムを連携させ、多様な職種のスタッフが情報を共有する仕組みを実現したいと考えた。



株式会社ワイズマン  
福祉事業本部  
福祉商品企画部  
福祉商品企画3課  
課長  
**伊藤 宏光氏**



株式会社ワイズマン  
福祉事業本部  
福祉開発部  
福祉システム1課  
課長  
**渡邊 正人氏**

### ソリューション

信頼性に優れたabsonneとスケーラビリティに優れたAWSを組み合わせたITインフラを用意。介護情報管理クラウドのITインフラ(absonne)を提供する新日鉄住金ソリューションズにデータ連携機能の構築・運用支援を依頼した。

### 成果

2種類のクラウドとオンプレミスの医療情報管理システムが連携するマルチ/ハイブリッドクラウド環境により、信頼性とスケーラビリティを両立。患者・利用者の満足度を高めるサービスとしてハイペースで事業を拡大している。

### 医療・介護情報を患者・利用者単位で一元化するサービスを検討

医療と介護の両分野におけるシステムのパイオニアとして、企画から開発、販売、サポートまでをワンストップで提供しているワイズマン。同社の介護情報クラウドサービス「ワイズマンASPサービス」や、医療情報管理パッケージ「電子カルテシステム[ER]」は豊富な導入実績と高い評価を誇る。ワイズマンが、医療と介護のシームレスな連携に向けて情報共有ポータルサービス「MeLL+(メルタス)」の開発を検討したのは2011年ごろである。同社は、医療施設におけるカルテ所見や介護事業所におけるケア記録などを患者・利用者単位で一元化。医療施設と介護事業所それぞれに勤務する多様な職種のスタッフがタイムリーに情報を共有して患者・利用者ごとにきめ細かな対応を行えるようにするとともに、厚生労働省の地域包括ケアシステムの構築を支援したいと考えた。

### absonneとAWSでサービスの信頼性とスケーラビリティを両立

ワイズマンは2014年8月、MeLL+の開発を開始。同サービスの介護情報連携基盤として新日鉄住金ソリューションズ(以下、NSSOL)の「absonne Enterprise Cloud Service(以下、absonne)」(アブソヌ・エンタープライズ・クラウドサービス)を、同サービスの情報共有ポータル基盤として米Amazon Web Servicesの「アマゾン ウェブサービス(以下、AWS)」を選択する。absonneはワイズマンASPサービスのITインフラとして8年にわたる運用実績がある。信頼性やセキュリティに優れ、ミッションクリティカルで高精度のデータ連携を行う介護情報連携基盤に最適である。ワイズマンはそのデータ連携機能の構築・運用も技術知見が豊富なNSSOLに支援を依頼。さらに情報共有ポータル基盤にAWSを採用して、高いアジリティとスケーラビリティを実現した。

### 多様なスタッフが情報を共有、患者・利用者の満足度を高める基盤に

MeLL+は2015年1月に提供を開始している。同サービスはクラウドであるワイズマンASPサービスから介護情報を、医療施設内で稼働するオンプレミス環境の電子カルテシステム[ER]から医療情報を取得して連携するハイブリッドクラウドにもなっている。医師・看護師・介護福祉士といった多様な職種のスタッフが各自の職場で一元化された情報を共有することで、患者・利用者の満足度を高める基盤として活用されている。

導入もハイペースだ。医療・介護の両分野で豊富な自社システムの開発実績を持つワイズマンが手掛けた同サービスは、ユーザーである法人事業者の評価が高く、当初の販売目標を提供開始から半年で達成した。今後は、使いやすさを追求するとともに、複数の法人をまたぐ幅広い情報共有の基盤などにMeLL+の機能を拡充していく。

## Key to Success

ワイズマンが情報共有ポータルMeLL+を開発した背景は、患者・利用者ごとの医療・介護情報を一元化して共有し、患者・利用者の満足度をより向上させることである。

福祉事業本部 福祉商品企画部 福祉商品企画3課 課長の伊藤宏光氏は「これまで病院のような医療施設内の情報共有を進めるサービスと介護事業所内の情報共有を進めるサービスをそれぞれ提供してきましたが、MeLL+ではそれらを統合し、医療と介護のシームレスな連携を実現する基盤になることを目標にしました」と語る。

MeLL+の開発がスタートしたのは2014年8月である。

伊藤氏は「幅広いスキルの多様な職種の方々が簡単に使えるようにしています。新市場を開拓する事業のため、スモールスタートで開始しつつ、ニーズに応じて迅速にサービスを拡張できるようにする必要がありました。それに加えて、医療や介護に関する機微情報を扱うため、信頼性やセキュリティを重視しています」と振り返る。

ワイズマンがMeLL+の開発に際して支援を依頼したのが、ワイズマンASPサービスのITインフラを構築・運用してきたNSSOLだ。NSSOLは、ユーザー企業がシステムに最適なITインフラを導入できるよう、absonneを含めた複数のクラウドを連携させる環境を、導入計画の立案から実際の運用までワンストップで提供するサービスを拡充している。

福祉事業本部 福祉開発部 福祉システム1課 課長の渡邊正人氏は「MeLL+のITインフラでは、absonneによって信頼性やセキュリティを高め、AWSによってスケーラビリティを確保

するマルチクラウド環境を構築しました。さらに、absonneで実現しているワイズマンASPサービスが保持する介護情報をMeLL+の医療・介護情報共有ポータルへ渡す、高精度のデータ連携機能については、採用したOracle GoldenGateに関する技術知見が豊富なNSSOLに構築・運用をお願いしました」と話す。

### マルチ/ハイブリッド環境が安定稼働MeLL+の事業がハイペースで拡大

2015年1月に計画通りサービス提供を始めたMeLL+のマルチ/ハイブリッド環境は安定稼働しており、事業はハイペースで拡大している。

伊藤氏は「2015年は、導入法人数がサービス開始から半年で30社を超えるなど、想定のはほぼ倍のペースで増え

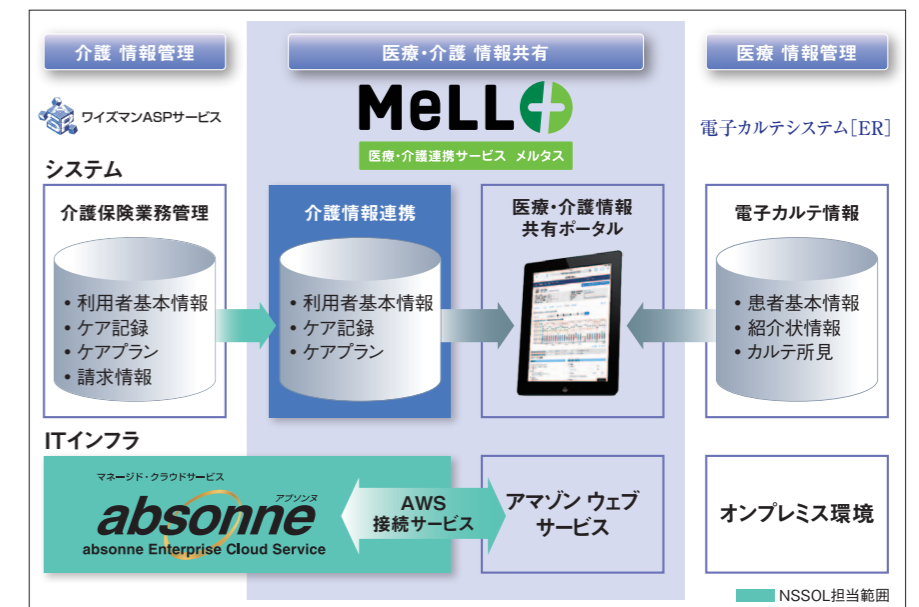
ています」と語る。

導入実績の増加に合わせて、サービスの拡張も検討されており、NSSOLへの期待は高い。

渡邊氏は「MeLL+の機能拡張に合わせてデータ連携の範囲を広げていくほか、将来はウェアラブル端末対応やデータセンター間の連携などが必要になるでしょう。NSSOLにはこれからの協力をお願いしたいと考えています」と語る。

伊藤氏は「MeLL+は現在、主に法人内の情報共有のために利用されていますが、これからは地域内あるいは法人間の情報共有にも用途が広がっていきます。ユーザーの利便性向上のため他社サービスとの連携も検討すると思いますし、新たな業界標準への対応も必要になる可能性があります。豊富な知見を持つNSSOLにはこれからも技術的な相談にのっていただければ幸いです」と話す。

### ■ワイズマンが提供する情報共有ポータルサービス「MeLL+(メルタス)」の概要



#### ■コアテクノロジー

マルチクラウド、ハイブリッドクラウド、データ連携

#### ■システム概要

- クラウドサービス: absonne Enterprise Cloud Service、アマゾン ウェブ サービス
- ミドルウェア: Oracle Database、Oracle GoldenGate